

令和2年度 下関商業高等学校（全日制） 学校評価書 評価者氏名(久保田 力哉)

1 学校教育目標
教育目標・・・①社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)の育成 ②授業の充実による確かな学力の育成と進路指導の充実 ③部活動・学校行事等の充実 ④保護者・地域との連携と積極的な情報発信
めざす生徒像・・・①ビジネスの基礎力を充実させ、ビジネスへの理解力と実践力を備えた生徒
②明朗で、人間としての常識とゆたかな人間性及びたくましい体力を備えた生徒
③常に感謝の気持ちを忘れず、他人を思いやり、誠実に謙虚な生徒
④変化の激しい時代に自ら主体的・積極的に対応でき、創造性を備えた生徒
⑤日本の伝統文化を尊重し、グローバルな視野をもった生徒
チャレンジ目標・・・①国公立大学25名以上合格 ②就職100%内定、3年間は離職しない進路意識の涵養 ③全商検定1級3種目以上取得者50名以上 ④欠席・遅刻数の20%減少

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
総務 他の方掌と連携して学校行事の円滑な運営を図っていききたい。学校の的確な情報を迅速に発信できるようにしたい。
教務 校内業務の効率化と可視化を行い、全教員の業務への理解を深めるとともに部員のスキルアップも図っていききたい。
生徒指導 昨年度は問題行動による特別な指導はなく、学校は落ち着いている。昨年度に引き続き、女子のプレザーのボタンを留めさせることと、掃除において生徒一人ひとりの役割を明確化して、積極的に取り組ませることに努めていききたい。
進路指導 昨年度進学は、国公立大学21名合格、就職については9年連続就職内定率100%を達成することができた。本年度は就職状況が厳しくなると見込まれるが、3学年と協力し生徒の進路実現に努めていききたい。
保健体育 担任等と連携し、健康観察や治療動奨を行うとともに、手洗い・消毒等の感染予防行動や基本的な生活習慣の確立を徹底し、生徒の自己健康管理能力を育てたい。
教育相談・人権教育 生徒が安心して学校生活を送れるよう適切な支援を全校体制で行いたい。また、自己肯定感を培い他者尊重の意識を育める環境づくりに努めたい。
図書 魅力的な図書館となるよう、生徒のニーズと学びを兼ね備えた選書をめざす。「朝の読書」も、充実した時間となるよう、工夫をしていききたい。
情報 校務システムを滞りなく運用するだけでなく、新しい情報機器についての検証を行いシステムに不具合が出た場合の迅速・適切な対応に努めていききたい
1年 下年生としての心構えや礼儀等を普段の学校生活や授業を通して身につけさせたい。また、基本的な生活習慣の確立を図り時間厳守を意識させる中で、将来のビジネスのスペシャリストとしての資質を育成したい。
2年 中核の学年としての学習・行事・部活動等意欲的な取組を促したい。引き続き礼法・服装指導をおこない、落ち着いた学習環境を整えたい。
3年 コロナウイルス蔓延という世界中が未曾有の事態になったが、教職員、地域社会との関係をしっかりと構築し、生徒全員の進路実現をめざす。
商業 校内での研修の充実させ、授業参観や研究授業などを継続して行う。地域社会に貢献できる人材を育成できるよう、地元企業と連携し、社会人基礎力、ビジネスマナー、実践力を育成していく。卒業までに全商検定1級3種目以上50名をめざす。
情報処理 クラス担任、教科担当者等との連携、協力を深めることができた。資格取得や進路実現に向けて適切な指導ができるように教員と生徒の意思統一を図れた。プログラミングに対する興味関心をしっかりと持たせることができる程度までできている。
業務改善 「業務の見直し・効率化」、「勤務体制等の改善」、「学校支援人材の活用」の3つの柱をもとに、学校における働き方改革を着実に推進させる。

3 本年度重点を置いてめざす成果・特色、取り組むべき課題
(1) 社会に貢献できる人間力の育成 ～凡事徹底、部活動・学校行事等でのさらなる飛躍～ (2) 基礎学力の向上 (3) ビジネスにおける実践力の錬磨 (4) 保護者・地域との連携強化 (5) 安全安心で、快適な教育環境の整備

4 自己評価
5 アンケート評価
5 よくあてはまる 4 ややあてはまる に回答された割合
評価: A達成できている B概ね達成できている Cできていない
5 学校関係者評価
評価
評価

6 学校評価総括（取組の成果と課題）
<p>【総務】インターネット等による迅速、的確な情報発信は、概ねなされた。よりの確な、見やすく、伝わりやすい情報発信をすることが課題である。</p> <p>【教務】出席率が向上し、授業の取組等はよい傾向が続いている。現状に満足せずさらなる努力を続けていきたい。</p> <p>【生徒指導】問題行動も少なく学校は落ち着いている。昨年度反省点が多かった掃除についても、かなり改善できたと感じる。また、欠席・遅刻を減らす取組についても、欠席については20%減の目標を達成できた。しかし、遅刻に関しては昨年度よりも増加してしまった。女子のブレザーのボタンを留めさせることに関しても、昨年度より注意する教員が増え、少しではあるが改善傾向が見られる。</p> <p>【進路指導】コロナ感染症の影響で全般的に例年通り事が進まない年だったが、就職・進学希望とも無事出口を確保した。数字の上では、国公立大学19名合格、10年連続就職率100%を達成した。就職に関しては企業と積極的に情報交換して希望に沿った就職先を決めさせること、進学に関してはガイダンス等が例年通りできないなかで、より多くの情報を提供することが課題である。</p> <p>【保健体育】毎朝、家庭で体温を測定し、「健康観察カード」に体温・体調を記入することで、自身の健康状態を確認し、振り返る機会になった。今後も健康観察や手洗い、消毒、換気等の感染症対策をとおして、自己管理能力を育てることが課題である。</p> <p>【教育相談・人権教育】生活アンケートや学校安全アンケートが形骸化しないよう、タイミングや方法等、工夫を重ね、結果をもとに細やかな対応を行った。また、個々の事案に配慮しながら、教職員間の情報共有を密にして、問題解決に努めてきた。しかし、アンケートに表出されない生徒の悩みや保護者の思いに十分には対処できなかったことが反省点であり、継続課題である。</p> <p>【図書】生徒のニーズと学びに対応した選書および企画展示、さらに授業での活用、テーマを持った貸し出し、そして読後の感想・意見の集約など丁寧な読書指導を行った。授業でかかわりを持たず、図書館に足が向かない学年生徒に、まずは「万古館」に足を運んで1冊でも手に取ってもらえるような工夫をしていくことが来年度以降の課題である。</p> <p>【情報】新しい情報機器や校務システムなどが導入されたが、当初不具合が多く発生した。解決したものもあるが、まだ解決していない問題については業者との連携を図り対応を引き続き行う必要がある。</p> <p>【第1学年】2か月近く遅れての学校生活のスタートとなったが、順調に過ごしている。また、商業教育に大切な礼節を中心に指導してきた。概ね身についているようではあるが、まだ指導不足の面もあり、そこが次年度の課題でもある。</p> <p>【第2学年】中核の学年として、生徒会選挙や修学旅行などの学校生活、学校行事への取組は、非常に意欲的であると感じられる。部活動などは対外的な試合も少なくモチベーションを上げることが困難な中でよく努力をしている。学習に関してはもう一步の感がある。</p> <p>【第3学年】コロナ禍中で5月下旬にスタートし、進路決定に関して慌ただしい日々が続いたが、生徒、担任、進路指導部、管理職その他学校全体の協力により、全員の進路が決定した。卒業までに社会人基礎力を養うように準備に入っている。</p> <p>【商業】定期考査前の個別指導や検定対策課外など、各教員が担当クラスの生徒に対して十分な指導を行った。その成果として、1年生の「簿記」、2年生の「会計」「原価計算」の合格率が向上した。来年度に向けては、全商検定1級3種目以上合格者数40名以上、1年生全体への日商簿記3級の指導、令和4年度からの新教育課程の検討が課題である。</p> <p>【情報処理】情報処理科の担任や教科担当者との連携を図り、生徒一人ひとりの成長が結果として現れた。公務員試験合格も含めて多くの生徒が進路実現も果たせた。来年度も3年間の継続的な指導を通してより一層の成長が図れるようにさらに教員間の連携、協力を進めていきたい。また、多くの生徒が全商検定1級3種目以上合格や高度資格の取得ができるように指導を継続したい。</p> <p>【業務改善】「業務の見直し・効率化」については生徒情報交換会を運営委員会に統合し、年間10回の会議日数を削減した。1回の会議時間についても、勤務時間内に収まるように司会進行に努めた。「勤務体制等の改善」については、部活動指導等において部活動運営方針に沿って、超過勤務時間の更なる削減を図っていくとともに、文書事務等の効率化も進めていく。</p>

7 次年度への改善策
<p>【総務】的確な情報を見やすく、伝わりやすいように工夫改善していく必要がある。</p> <p>【教務】引き続き家庭学習を増やす工夫を考える。また、進路決定者のモチベーションを下げずに最後まで頑張らせることに学校全体がまとまって取り組んでいく必要がある。</p> <p>【生徒指導】教員全員で生徒指導をするという意識を共有するため、頭髮服装指導の方法を見直すことを計画している。また欠席・遅刻に関しては、不登校傾向にさせない努力と基本的生活習慣の確立の両面から取り組みたい。</p> <p>【進路指導】就職に関しては、一番忙しい夏休み中の進路指導計画が二転三転し、混乱した。応募前職場見学引率に関して担任と進路指導部でまかなったが、より多くの協力があるといい。進学指導については、オープンキャンパス参加、校内での大学、短大、専門学校等のガイダンスを実施できなかったが、今年も同様と予想される。進学するうえでの情報収集を、生徒に主体的にさせたい。</p> <p>【保健体育】2月から健康観察がweb入力となったため、今まで以上に徹底させるとともに、引き続き、手洗い・消毒・換気等の感染症対策を徹底し、生徒の自己健康管理能力を育てたい。また、様々な悩みを抱えている生徒が多いため、担任や教育相談、SC等と連携し共通理解を図り、組織的に対応していきたい。</p> <p>【教育相談・人権教育】生徒や保護者が安心して相談できる体制作りと、人権教育、心の教育、教職員研修の充実を図りたい。</p> <p>【図書】文学以外のジャンルの書籍を手にし、知識の泉に浸る取組「パンブラリー」を始めた。この企画の充実、発展を図りたい。</p> <p>【情報】次年度からは1人1台端末も導入される予定なので整備・管理を徹底し、学習活動や行事等で快適に活用できるようにしていかなければならない。</p> <p>【第1学年】学校の中心となる学年であることの自覚を持ち、行事・学習・部活動等に対して意欲的な取組を促したい。進路選択に向けて、より多くの情報が提供できるようにロングホームルームや総合的な探究の時間を活用したい。次年度も担任間の連携をしっかりととり、学年全体で生徒の対応にあたりたい。</p> <p>【第2学年】一クラス減になってからの最初の3年生でとなり、進路関係で大きな変化があると思われる。それに十分対応できるような学年を目指したい。そのためには、学習だけにとどまらず、礼儀や出席率など今以上にレベルアップできるようにしていきたい。</p> <p>【第3学年】就職に関しては、コロナの影響が懸念されるため、地域社会等との綿密なコミュニケーションに努めていきたい。</p> <p>【商業】全商検定1級3種目以上合格者数の増加に向けて、縦横に連携を深め、継続した指導を実施する。新教育課程について、各コースの主担当と協力して詳細を決定していく。</p> <p>【情報処理】クラス担任、教科担当者等との連携、協力をさらに深める。資格取得や進路実現に向けて適切な指導ができるように教員と生徒の意思統一を図る。</p> <p>【業務改善】引き続き校務の総点検を行い、更なる業務の精選・簡素化を推進する。また、紙ベースでの業務が多いため、電子化による効率化を進めていく。学校業務支援員や部活動指導員等の学校支援人材の活用についても、市教委とも協議しながら検討していきたい。</p>